Photo:宇野正樹

なぜ、裏方だった私が市政に挑戦するのか

息子が通う学童の民間委託問題に関わり、おのずと市政のさまざまな問題にも関心を向けるようになったのです。そこでは、行政の物事の進め方が子どもや市民の目線に立っていないと疑問を感じてきました。2011年頃、当時の仲間とともに議会事務局と交渉し、傍聴席からのUstream中継を独自に開始。その後、提出した陳情書が採択され、市議会として公式な中継へと移行しました。2016年より「小金井をおもしろくする会」メンバーとなり、当会2人の市議をサポートする中で、この団体を大きくすることが、よりよい市政を実現するための方向性だと確信し、市議会議員を目指す決意をしました。

What is he like?

ながとり太郎はこんな人

翻訳者／55歳／東京都杉並区出身／小金井市在住23年／家族は司法書士の妻と息子1人／私立武蔵中学校・高校、中央大学法学部法律学科卒業／元(株)SUBARU勤務／2003年小金井市学童保育連絡協議会事務局長、2006年南小みなみの会副会長、2006年南小おやじの会立ち上げ／特技：ギター、トロンボーン、サルサダンス、ランニング、英語(TOEIC 905点)・仏語、パソコン・マイコン歴40年

LINE公式
アカウント登録
お願いします!

太郎がわかる、4つの特徴

1 子どもが育つ場へのこだわり

学童保育民間委託問題の中で、質の高い委託運営を実現できるよう、旧知の民間施設に応募してもらうよう働きかけた。子どもの育つ環境づくりへのこだわりが強い。

2 市議会動画中継をはじめた男

10年前、閉ざされがちな市議会の議論を見える化するため、市民有志で動画中継をはじめた。それがキッカケで議会として公式にすべての会議を動画中継することに。

3 コロナ禍でお弁当・テイクアウトアプリ作成

昨年春の緊急事態宣言下で、地域の飲食店支援として、市民が情報を得て利用しやすくするためのお弁当・テイクアウトアプリを作成し運用。

4 国際人、文化人の顔を持つ

会社員時代に海外事業部にいたこともあり、今はフリーランスの翻訳業を営む。また、音楽にも造形が深く、サルサも踊る。国際人、文化人でもある。

こがおも 子育て・教育×つながり×にぎわいの好循環の仕組みをつくろう

[こがおものこれまでの活動]

※市議会の会派活動も含む

市議会議員誕生

①2013年市議会議員選挙で代表・白井とおる初挑戦・初当選(完全無所属)
②2019年市議補選で水谷たかこ当選

市政をわかりやすく

あらゆるツール・メディアを駆使して、情報発信を強化。わかりにくい市政・議会をもっと身近に

勉強会の開催

保育、財政、主権者教育、議会改革などについてオープンな勉強会を開催

人材育成

主催者教育の一環として、高校生や大学生のインターンを受け入れ

30~50代を中心に、幅広い世代が集い
オープン・コミュニケーションを通じて政策づくりをしています。

ご意見・ご要望・お問い合わせはコチラ

TEL：050-5884-0472(ながとり)
Mail：taro@nagatori.com
Web：kogaomo.com/nagatori/
Facebook：www.facebook.com/taro.nagatori
Twitter：twitter.com/toritarosan

こがおも秘密基地
(小金井をおもしろくする会事務所)
小金井市東町4-38-27-201
東小金井南口商店街・トチノキ公園南西の建物2F

討議資料

噂のこがおもマガジン 別冊
発行・編集責任：小金井をおもしろくする会
〒184-0011　東京都小金井市東町4-38-27-201
2021年3月1日発行

ながとり太郎ペーパー Vol.3

TARO

ながとり太郎

3月21日は
小金井市議選

人にやさしいデジタル変革！

政治団体 小金井をおもしろくする会

小金井をおもしろくする会 の基本政策

子育て・教育 × つながり × にぎわいの好循環の仕組みをつくろう!

実現するための5つの改革

- 便利!行政のデジタル化
- 伝わる!広報改革
- 変わる!市役所職員人材育成
- 反映できる!市民の声
- 使える!議会改革

まじめに、おもしろく。

既成概念をとっぱらい、論点を明確にし、市民に伝わるように説明し意見を聴く。将来の小金井市のビジョンを描きつつ、今の課題に対して少しでも適切だと思う答えを作り出す。このまちのプライドとなるものは固く守り、変えるべきところは変える。そのためには、政党や価値観や感情の対立を超えて、大人がしっかりと対話を実践することが重要なのではないでしょうか。それはすべて、いまとこれからの小金井市のために。

小金井をおもしろくする会 since 2012

討議資料

小金井市!! “ここが足りない”仕組みを変えよう

超高齢化社会、新型コロナウイルス感染症への対応など、どれを取っても小金井市の課題は山積しています。行政の仕事の質をさらに高めることが求められています。財政運営が厳しい（経常収支比率の高さ、財政運営柔軟性の低さ）のに、市役所には事業評価の仕組みがありません。また、「オンライン申請」の実体は内部での手作業による処理など、時代の要請に遅れた古い仕組みを変える必要があるのではないでしょうか。すべては、市民が納得し、メリットを享受できる行政サービスでなければなりません。

ココが変だよ！ ＼ その原因はどこに？ ／ 小金井をアップデートしよう！ 太郎が考えてみたアイディア

1 特別定額給付金（10万円）、多摩地域で支給スピードが最低レベル!?

よーいドン！で、どの自治体も条件は同じだったはずなのに…

業者任せ。市役所内の組織間の連携不足。不測の事態への対応力不足…

- 他の自治体職員との情報交換と交流の機会を後押しする制度づくり
- 民間からの任期付登用をプロジェクトごとに積極的に導入し、仕事の質を高める
- 想定外の事態に対応できるような事例型研修の実施

市役所を変える！

2 相対的貧困率13.5%でも小金井市は具体的な目標設定もなし

職員が「小金井市は高所得者が多い」という意識になっていないか？

市役所は「待ち」の姿勢。また、そもそも地域の実態を把握できていない…

- 横断的な調査と積極的な支援の入り口作りを検討する
- 先進的な子どもの権利擁護機関の設置
- 子どもを始めとした市民の声を拾うことができる仕組み（アプリ等）の導入

もっと声を拾う仕組みを！

3 すべて窓口の申請が前提の行政サービス設計

新型コロナウイルス感染症拡大の今が絶好のチャンスなのに・・・

ICT化を進める計画も旗振り役も不在…

- 市役所のデジタル化、ICT化を推進する方針の策定を後押し
- デジタル政策に取り組む課の設置（市役所のデジタル化戦略を統括）
- 民間企業からの専門的な知識を持つ人材の採用

誰でも使えるように！

ながとり太郎の政策の骨子

「デジタル変革で人と人を繋ぐ」

「全ての人に優しい政治を」

「坂下地域の不便を解消」

4 約7割※の市民に議会の活動が伝わっていない

市役所に遅れを取る議会

※2020年市民の意識調査アンケート（小金井市議会）

市民目線で伝わるように伝えきれていない！本気で変えようと思っていない!?

- 市議会広報の改革（議会だよりのデザインリニューアル）
- ICTツールを活用し、議会全体として「市民の声を拾う」機能の拡充
- 市議会活動の実態調査を踏まえ、議員定数および報酬の最適化を検討

もっと使える市議会に！

私たちがながとり太郎さんを応援する理由

優しい人柄と能力！

東京大学准教授／作曲家、指揮者、作家
第一回出光音楽賞、
「さよなら、サイレント・ネイビー」で
第四回開高健ノンフィクション賞受賞

伊東　乾

私は、40数年前、中学の音楽部で一年後輩の彼と知り合いました。ブラスバンドでトロンボーンを吹いていた彼は、先輩後輩の別なく誰の意見もよく聴き、全員が快適にハーモニーを生み出す人間関係の中心でした。
彼はコンピュータやデジタルシステムを深く理解し、高い問題解決のスキルを持つ人。そして、生真面目な人柄なので一度引き受けた仕事は投げ出さず、粘り強く取り組み必ず結果を出す人物です。
自動車業界で力を発揮し、英語を駆使し、世界の先端で仕事をこなす知のエキスパートですが、小さなことにも優しい人柄がにじむ配慮を欠かしません。私も個人的に心を支えて貰った事があります。そんな彼が地元小金井のために市政に挑戦すると聞きました。ながとり太郎さんは人物、能力、すべての面で信頼できます。自信をもって推薦いたします。

見える化！

社会福祉士
ロビイスト

佐藤 真紀

ながとり太郎さんは、私が学童保育の支援員（当時は指導員）をしていた際に、地方自治体の議会改革に関して意見が一致し、遠方の地同士ながら意見交換を重ねてきました。議員の仕事はなにかと「見えない」と言われることがありますが、ながとりさんは小金井市初の議会中継を民間の立場から推進するなど、議員がおこなう仕事の見える化に尽力されてきました。
市議会議員の評価軸は、何よりもそこに住む住民の皆様の幸福に資することができているかということにかかっています。その点、ながとりさんは今まで行ってきた「見える化」で住民が議員の仕事を評価できるスケールのひとつを示しただけでなく、次はその一員として小金井市に住むすべての人のために奮闘をしてくれると信じています。

市役所の言葉を翻訳できる人！

中町在住

横須賀 幸枝

ずっと「こがおも」を縁の下で支えてくれていたながとり太郎さん。本業は翻訳家。議員の仕事もある意味、市民と議会、そして小金井市の間にたって翻訳して伝えるようなものです。小金井市役所や議会のICT促進など市民が改善を願っていることをわかりやすく伝えて、実現できるようぜひ議会で活躍してほしい。市議会は私たちの日々の暮らしの延長にあります。太郎さんはいい意味で「普通の人」。太郎さんが活躍できる議会は、普通の社会で通用する人が普通に働ける健全な議会だという気がします。議会を特別な場所にしないためにも小金井市議会にはながとり太郎が必要です。

幅広い分野へのアンテナ！

梶野町在住

原 美千子

新型コロナのような問題が起きているとき、科学する手順と対策を提供できる議員がいてもいいではないかと、市民の誰もが切実に思う。そんな期待に応えるように市政に挑戦するのが、ながとり太郎さん。太郎さんはデジタルのプロだが、幅広い分野にアンテナがある。議会へも子育てのなかで足を運び、「こがおも」の仲間と自力で議会の状況を市民に見える化させた。行政のデジタル面での役割にも欠かせない人材だ。

テクノロジーがわかる！

前原町在住

伊藤　渉

太郎さんのいいところは、技術的なものにアレルギーがなく使いこなすところだと思います。『デジタルもの』も人の手により作られたもの。テクノロジーを無下に否定するのではなく、「なんだかデジタル変革とか縁遠いなあ」と言っている市民と技術を繋ぐ役割を期待したいです。市政の現場も変わっていくべき時に来ていると思います。技術の分かる人が中にはいることで良い変革を期待します。

ハイスペックおじさん！

本町在住

酒井 美帆

太郎さんたちがはじめた市議会のネット中継を側でみてきました。順調にいく日ばかりでなく、機械のトラブル、回線の不具合、様々な理由で中継が中断してしまう事が多々あり、その度に、太郎さんが対応してくれていました。市が公式に中継を始める際も、市民中継のノウハウを提供して運営に協力していましたね。太郎さんは自分のことを「普通のおじさん」と言いますが、分析力、行動力、IT関係の知識に関してはハイスペックおじさんだと思います！

政治団体
小金井をおもしろくする会
代表：白井亨の考え

なぜ、ながとり太郎を議会に送り出すのか！？

国のデジタル変革の動きもあり、今後は自治体の取組によって行政サービスのレベルに大きく差が出てきます。それゆえ、太郎さんのように民間企業を経験しITスキルも高い優秀な人材が議会には必要です。また、市民の立場から学童の民営化問題などで市政とやりあう中で「おかしい」という感覚を持っているからこそ、市役所を変えていく原動力になることは間違いありません。
小金井市はこれからバージョンアップしなければなりません。そのためには、市政の最前線に、このような人材を送り出すことが重要となります。私たちが7年前から掲げている「子育て×繋がり×賑わいの好循環の仕組みをつくる」を実現すべく、共に活動できればこれほど心強い存在はありません。
特に、坂下地域には私も目が届きませんでしたので、中町1・4丁目、前原町、貫井南町、貫井北町の皆さん、何か気になることがあればお気軽にながとり太郎へ声をかけてください。